

商売とは何か

営業は断られるところから始まるものです。
待つている人のところへ売りに行くのは「配達」といいます。
営業は向こうを向いている人を、どうすればこちらに向いてい
ただけるだろうかとかと心を砕いて、まず相手に喜ばれることを考える
ものです。
絶対に相手に必要なものであると本気で信じているものなら、何
度断られても断られても行かずにはいられなくなるはずで
お客様に、この人は自分が儲けようと思つて来ているのだと思わ
れている間は、いつまでも必死で断り続けることでしょう。
しかし、もしかして私のためを思つて来ているのかもしれないと
思つたその時から、初めて心は動きます。欲で来るのなら身を守る
のは当然です。誠で来るのなら人は誰でも心を打たれて、心の扉を
開きます。
ほとんどの商売は、まずチラシ配りから始まっています。
どこでも「チラシお断り」と必ず書いてあります。入れたら大きな
声で怒られます。それでもみんなが入れています。それが現代社会
の常識となっています。プライドの高すぎる人だけが出来ません。
許可してくれる所だけを入れるのは幼稚園の子供です。
誠があればいくら断られても平気です。それが誠です。
この世には自然の法則があつて、人間は人を喜ばせなかつたら生
きていけないように作られています。
「人に涙山喜んでいただいて、自分は少しだけ」というのが商売の
基本です。
人間は誰でも商売をしなければ生きていけないのではないでしょ
うか。